



Hewlett Packard
Enterprise

iLO Amplifier Pack リリースノート

摘要

iLO Amplifier Pack v1.20 のリリースノート

部品番号: P04464-192
発行: 2018 年 4 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Pentium[®]、Intel Inside[®]、および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®] および Windows[®] は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®] および Acrobat[®] は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®] および Oracle[®] は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®] は、The Open Group の登録商標です。

目次

iLO Amplifier Pack.....	5
前提条件の確認.....	6
デバイス、OS、および言語のサポート.....	6
ブラウザ要件.....	6
iLO Amplifier Pack をホストするための前提条件.....	7
管理対象サーバーの前提条件.....	7
更新を実行するための前提条件.....	8
サーバーシステムの復元を実行するための前提条件.....	8
iLO Amplifier Pack のインストール.....	9
iLO Amplifier Pack のアクティブ化.....	9
アプライアンスファームウェアのアップグレード.....	10
iLO Amplifier Pack 1.20 での変更.....	12
iLO Amplifier Pack 1.20 の機能強化.....	12
iLO Amplifier Pack 1.20 での修正.....	12
iLO Amplifier Pack 1.15 での変更.....	13
iLO Amplifier Pack 1.15 の機能強化.....	13
iLO Amplifier Pack 1.15 での修正.....	13
iLO Amplifier Pack 1.10 での変更.....	14
iLO Amplifier Pack 1.10 の機能強化.....	14
iLO Amplifier Pack 1.10 での修正.....	14
既知の問題.....	15
操作後に GUI が更新されないことがある.....	15
アップデート後にインベントリの詳細が表示されない.....	15
検出中に UI がフリーズする.....	15
ブラウザが最新ではない.....	15
レポート情報がソートされない.....	16
CSV ファイルのアップロード時に検出が失敗する.....	16
SSH セッションを終了できない.....	16
アラート通知が表示されない.....	16
GUI ページ上でサーバー数が異なる.....	17
高セキュリティサーバーのオフラインの更新が失敗する.....	17
オンラインの更新中に SUT コンポーネントがダウングレードされない.....	17
タスクを作成するときに障害メッセージが表示される.....	17
アクティビティのアラートとログを CSV にロードおよびエクスポートすると GUI がフリーズする.....	18
S100i Smart Array コントローラーで、ファームウェア構成の設定を復旧できない場合がある.....	18
カスタム SPP のファームウェアベースラインを iLO Amplifier Pack にインポートすると失敗する.....	18

特定のサーバーでオンラインの高速対話型更新が失敗し、「Activate Failed」というメッセージが表示される.....	19
特定のサーバーでオンラインの高速対話型更新が「Staged」状態でスタックする.....	19
AMS が実行されていても、オンラインアップデートを実行するためのサーバーを選択することができない.....	19
ホストは電源の投入ができないため、iLO Amplifier で手動によるリカバリタスクに失敗する.....	20

オープンソースの使用.....21

Web サイト..... 22

ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	22
------------------------	----

サポートと他のリソース..... 23

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	23
アップデートへのアクセス.....	23
カスタマーセルフリペア (CSR)	24
リモートサポート (HPE 通報サービス)	24
保証情報.....	24
規定に関する情報.....	25
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	25

iLO Amplifier Pack

iLO Amplifier Pack は、iLO Advanced の機能を活用して迅速な検出、詳細なインベントリレポート、ファームウェア、およびドライバーの更新を可能にする、高度なサーバーインベントリ、ファームウェア、およびドライバーの更新ソリューションです。iLO Amplifier Pack は、ファームウェアとドライバーの大規模更新を目的として、サポートされている数千台のサーバーの迅速なサーバー検出およびインベントリを実行します。

前提条件の確認

デバイス、OS、および言語のサポート

サポート可能なデバイス

iLO Amplifier Pack は、すべての ProLiant Gen8、Gen9、および Gen10（ラック、タワー型、ブレード、Apollo）サーバーをサポートしています。

オペレーティングシステムのサポート

注記: オンライン更新に対してのみ、次のオペレーティングシステムがサポートされます。

- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation Edition
- Microsoft Windows HPC Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 x64
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server
- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64)
- SuSE Linux Enterprise Server 12
- SuSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T)

言語のサポート

このリリースでサポートされる言語は、次のとおりです。

英語

ブラウザ要件

iLO Amplifier Pack の Web インターフェイスの実行をサポートするブラウザは次のとおりです。

- Chrome v65.0 以降
- Firefox v58.0 以降

注記: Internet Explorer は、推奨のブラウザではありません。

以下の設定がブラウザで有効でなければなりません。

- **JavaScript** - このアプリケーションでは、クライアント側の JavaScript が使用されます。
- **Cookies** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- **ポップアップウィンドウ** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。
- **TLS** - Web インターフェイスにアクセスするには、ブラウザで TLS を有効にする必要があります。

iLO Amplifier Pack をホストするための前提条件

ご使用のホストマシンが、VMware ESXi サーバー v.5.5 以降を実行するためのハードウェア要件を満たしていることを確認するには、VMware の Web サイトでドキュメントを参照してください。

iLO Amplifier Pack のゲスト VM では、次のリソースが ESXi サーバーで利用できる必要があります。

- 4 vCPU
- 8 GB の RAM
- 100 GB の空きハードディスクドライブ領域
- 1.0Gbps の 2 つのネットワークポート

管理対象サーバーの前提条件

サーバーを iLO Amplifier Pack で管理するには、以下のファームウェアバージョンを搭載している必要があります。

Gen8 および Gen9 サーバー	Gen10 サーバー
<ul style="list-style-type: none"> • iLO 4 v2.30 以降（HPE では iLO 4 v2.54 以降へのアップグレードを推奨）¹ • Windows の場合は AMS (iLO Agentless Management Service) v10.6.0 以降、Linux の場合は AMS v2.5.2 以降 • HPE SUT v1.8.0 以降（HPE では iSUT v2.0.0 以降へのアップグレードを推奨） 	<ul style="list-style-type: none"> • iLO 5 v1.10 以降 • Windows の場合は AMS v1.1.0 以降、Linux の場合は AMS v1.0.0 以降 • iSUT v2.0.0 以降

¹ iLO 4 v2.54 以降は、iLO Amplifier Pack でファームウェアを更新する必要があります。iLO Amplifier Pack を使用したファームウェアのアップグレードについて詳しくは、*iLO Amplifier Pack ユーザーガイド* (<http://www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja>) を参照してください。

必須ソフトウェアの取得について詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

- **iLO** : www.hpe.com/servers/iLO
- **AMS** : www.hpe.com/us/en/product-catalog/detail/pip.5219980.html
- **SUT/iSUT** : <http://www.hpe.com/servers/sut>

更新を実行するための前提条件

- www.hpe.com/servers/SPP からダウンロードした SPP (Service Pack for ProLiant) バージョン 2016.10.0 以降
- Web サーバーを使用してファームウェアアップデートを行う場合は、Web サーバーに以下が含まれていることを確認してください。
 - SPP iso イメージおよびファイルをホストする HTTP/HTTPS 共有
 - 正しくダウンロードするための、MIME タイプ設定への以下のファイル拡張子の追加：
 - .bin
 - .iso
 - .xml
 - .pdb

注記: iLO Amplifier Pack 1.15 以降では、直接 iLO Amplifier Pack から展開する場合、インポートされたベースラインイメージを格納するために、最大 80 GB のストレージを使用できます。それ以前のバージョンでは、最大 20 GB のストレージを使用できます。

詳しくは、www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja で入手できる *iLO Amplifier Pack ユーザーガイド* を参照してください。

サーバーシステムの復元を実行するための前提条件

リカバリは、次のコンポーネントを搭載した Gen10 サーバープラットフォームでのみ実行できます。

- iLO 5 v1.17 以降
- iLO Advanced Premium Security Edition ライセンス
- iLO 5 v1.17 以降のファームウェアウィンドウのスマートコンポーネントで構成された SPP
- Configure Manager with Security 権限を持つ iLO Amplifier ユーザー

注記: iLO Amplifier Pack のデフォルトユーザーには、Configure Manager with Security 権限はありません。

iLO Amplifier Pack のインストール

前提条件

- ダウンロードリンクとアクティベーションキーを含む HPE からの登録電子メール
- VMware ESXi 5.5 以降で構成されたホストサーバー
- VMware vSphere クライアントがインストールされているノートパソコンまたはデスクトップシステム

手順

1. ライセンス登録電子メール内のダウンロードリンクをクリックします。
2. `iLOAmplifierPack_1.20.zip` と対応するチェックサムファイルをダウンロードして保存します。

注記: 適切なチェックサム検証ツールを使用して、ダウンロードしたファイルの完全性を検証します。

3. zip ファイルから `iLOAmplifierPack.ova` を抽出します。
4. VMware vSphere Client を使用して、任意の VMware ESXi サーバー（5.5 以降）に接続します。
5. **File** をクリックし、**Deploy OVF Template** をクリックして、画面に表示される手順に従います。
6. イメージがインポートされたら、VM の電源を入れます。

VM は起動に時間がかかる場合があります。DHCP がサポートされない場合、起動に最大 5 分かかる場合があります。

VM の再起動後、コンソールに初期セットアップ画面が表示されます。

iLO Amplifier Pack のアクティブ化

前提条件

- 次のいずれかの権限を持つ iLO Amplifier Pack ユーザー
 - Configure Manager
 - Configure Manager with Security
- 再起動された VM への iLO Amplifier Pack のインストール。

手順

1. VM コンソールの welcome 画面に示されている IP アドレスにアクセスします。
2. 初期ユーザーアカウントのセットアップ時に入力した認証情報を使用して、iLO Amplifier Pack マネジメントアプライアンスにログオンします。
3. プロンプトが表示されたら、登録電子メールからアクティブ化キーをコピーして、**License Key** フィールドに貼り付けます。
4. **Activate** をクリックします。
iLO Amplifier Pack 管理ダッシュボードが表示されます。

アプライアンスファームウェアのアップグレード

注記:

iLO Amplifier Pack をバージョン 1.0x からバージョン 1.10 以降にアップグレードするには、アプライアンスを再展開する必要があります。構成は、バージョン 1.0x からバージョン 1.10 以降に復元できます。

HPE では、以前のバージョンの構成を復元できるように、アップグレードする前に現在の構成のバックアップを取っておくことをお勧めします。

前提条件

- 次のいずれかの権限を持つ iLO Amplifier Pack ユーザー
 - Configure Manager
 - Configure Manager with Security

手順

注記: 以下の手順で、iLO Amplifier Pack を v1.10 から v1.15 以降のリリースにアップグレードしてください。

1. `iLOAmplifierPack_1.20_Binary.zip` とその対応するチェックサムファイルをダウンロードして保存します。

注記: 適切なチェックサム検証ツールを使用して、ダウンロードしたファイルの完全性を検証します。

2. zip ファイルから `iLOAmplifierPack.bin` を抽出します。
3. ファームウェアアップグレードファイルをリムーバブルストレージデバイス、ネットワーク共有、HTTP 共有、またはクライアントコンピューターに保存します。
4. 左側のナビゲーションメニューから **Configuration and Settings** をクリックし、**System Update** をクリックします。
5. ファームウェアアップグレードファイルを保存した場所に対応するストレージタイプを選択します。
6. 選択したストレージタイプに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - リムーバブルストレージ (USB) の場合は、マウントされたデバイスを選択するか、ファイルパスを `/folder/filename` の形式で入力します。
 - ネットワーク共有の場合は、`/folder/filename` の形式のファイルパス、IP アドレス、およびネットワークストレージパスを入力します。
 - HTTP ファイル共有の場合は、ファームウェアアップグレードファイルの URL を入力します。
 - ファイルアップロードの場合は、**Browse** をクリックし、クライアントコンピューター上のファームウェアアップグレードファイルに移動します。

7. **Update** をクリックします。

更新が完了した後、システムは再起動します。

注記: iLO Amplifier Pack が DHCP で構成されている場合は、再起動後にアプライアンスの IP アドレスが変わる場合があります。

8. ブラウザーのキャッシュをクリアします。

注記:

- タスクがまだ実行中の場合、更新は失敗します。
 - 将来の更新での使用のために、初期登録電子メールを保存しておいてください。
-

iLO Amplifier Pack 1.20 での変更

iLO Amplifier Pack 1.20 の機能強化

- ディレクトリグループを使用したユーザー管理
LDAP を使用して、Microsoft Active Directory で構成されたユーザーの認証をサポートします。
- オンラインおよびオフラインの更新
 - iLO レポジトリ更新は、HPE ProLiant Gen10 サーバーで利用可能なファームウェア/ソフトウェアアップデートの新しいメカニズムです。
- レポート
 - カスタムレポート
 - ユーザーは、レポートをカスタマイズし、それらをダウンロードできます。
 - デバイスドライバーの情報をカスタムレポートの一部として使用できます。

iLO Amplifier Pack 1.20 での修正

- セキュリティの修正
 - アプライアンス OS のアップデート
 - 以前の Chrome バージョンで、正しい証明書が無効な証明書として表示されていた問題が修正されました。
- ユーザーエクスペリエンスを向上させるための GUI のマイナー修正
- 安定性の修正
- カスタム SPP を使用したファームウェアアップデートが失敗する問題が修正されました。

iLO Amplifier Pack 1.15 での変更

iLO Amplifier Pack 1.15 の機能強化

- ベースラインの管理
 - iLO Amplifier Pack では、アップデートをより効果的に行うために、サーバーファームウェアおよび OS ファームウェアイメージを内部にホストおよび保存できるようになりました。
 - サーバーシステムの復元操作をサポートする構成ベースライン機能が追加されました。構成ベースラインは、サーバーからインポートするか、iLO Amplifier Pack 内で作成することができます。
- リカバリ管理

注記: リカバリ管理機能を使用するには、iLO Advanced Premium Security Edition ライセンスが必要です。

- サーバーシステムを適切に復元するリカバリ管理機能が追加されました。
 - ユーザーは、リカバリポリシーを作成し、サーバーのグループに割り当て、リカバリタスクが実行される時にそのタスクを監視することができます。
 - 復元イベントが iLO から送られると、iLO Amplifier Pack はそれを受け取り、リカバリポリシーと比較して、割り当てられたサーバーで復元プロセスを開始します。
 - 手動によるリカバリ操作や隔離操作もサポートされます。
- Configure Manager with Security ログインは、割り当てられたユーザーがリカバリ管理およびシステムリカバリタスクを実行できる新しいユーザーの権限です。

iLO Amplifier Pack 1.15 での修正

- セキュリティの修正
 - 管理対象システムのアラートのソース検証
- ユーザーエクスペリエンスを向上させるための GUI のマイナー修正
- 安定性の修正

iLO Amplifier Pack 1.10 での変更

iLO Amplifier Pack 1.10 の機能強化

- HPE ProLiant Gen10 サーバーの完全なサポートが追加されました。
- iLO Amplifier Pack では、オンラインおよびオフラインでのファームウェアアップデートに、SPP ベースラインイメージを内部にホストできるようになりました。
- **Baseline Automatic Update** と呼ばれる効率の良いオンラインでのファームウェアアップデートオプションが追加されました。
- 管理対象サーバーの連続的な更新を許可する自動更新オプションが追加されました。
- 管理対象サーバーの **View details** ページでは、サブシステムのヘルスが表示され、障害が発生したサブシステムのステータスを「容易に」識別できるようになりました。
- iLO Amplifier Pack が保持できる管理対象サーバーのアラート数は、5,000 から 10,000 に増えました。

iLO Amplifier Pack 1.10 での修正

- GUI の使いやすさが向上しました。
- Chrome では、ファームウェアレポートの CSV ファイルへのエクスポートが、管理対象サーバーが 2500 を越えると失敗していました。この問題は修正されました。
- Diagnostics ページの遠隔測定情報が、適切な情報を表示するように修正されました。
- オンライン更新でコンポーネントの選択時に失敗した依存関係を持つサーバーをハイライトするように、GUI の表示上の変更が行われました。

既知の問題

操作後に GUI が更新されないことがある

症状

操作の結果が GUI に反映されない場合があります。

アクション

ブラウザを更新し、変更内容を GUI に即座に反映します。

アップデート後にインベントリの詳細が表示されない

症状

オンラインまたはオフラインのファームウェアアップデートを実行後、サーバーインベントリへの変更が画面に表示されません。

アクション

サーバーで更新アクションを実行します。

検出中に UI がフリーズする

症状

iLO Amplifier Pack に多数のサーバーを追加する場合、検出中に UI がフリーズしているように見えることがあります。

アクション

検出プロセスが完了するまで待ちます。UI は通常動作に戻ります。

注記: **Performance settings** ページの更新間隔を長くすることをお勧めします。

ブラウザが最新ではない

症状

同じブラウザで複数のログインが行われた場合は、一部のセッションが最新でなくなる可能性があります。

アクション

iLO Amplifier Pack にログインする前にブラウザを更新してください。

レポート情報がソートされない

症状

Reports ページの情報がソートされません。

アクション

ページを更新して、再度ソートしてください。

CSV ファイルのアップロード時に検出が失敗する

症状

CSV ファイルを使用してサーバー情報をアップロードする際に、サーバーの検出プロセスが失敗します。

原因

CSV ファイルの IP フィールドまたはユーザー名フィールドに、空白のセルがあります。

アクション

定義されたフォーマットで CSV ファイルをアップロードし、空白のセルがないことを確認します。

SSH セッションを終了できない

症状

ユーザーのアカウント構成が変更された後、SSH セッションが終了しません。

アクション

SSH セッションを手動で終了し、再度ログインします。

アラート通知が表示されない

症状

アラート通知メニューは、UI では非表示になります。

アクション

ブラウザを更新するか、左側のナビゲーションメニューから **Alerts and Event Logs** を選択し、**Server Alert Viewer** をクリックしてアラートを確認します。

GUI ページ上でサーバー数が異なる

症状

サーバーの検出中は、**Servers** ページ上のサーバーの数が、**Dashboard** ページのサーバーの数より少ない場合があります。

アクション

サーバーの検出が完了するまで待ってから、ブラウザを更新します。

高セキュリティサーバーのオフラインの更新が失敗する

症状

オフラインの更新が、高セキュリティモードで動作する HPE ProLiant Gen10 サーバーで失敗します。

原因

オフラインの更新は、高セキュリティモードの Gen10 サーバープラットフォームではサポートされていません。

オンラインの更新中に SUT コンポーネントがダウングレードされない

症状

SUT はバージョン 2.0.1 のダウングレードをサポートしていません。インストールセットに iLO Amplifier Pack のダウングレード用 SUT コンポーネントが含まれている場合、SUT はそのコンポーネントを無視します。

アクション

SUT v2.0.1 コンポーネントのダウングレードに iLO Amplifier Pack を使用しないでください。

タスクを作成するときに障害メッセージが表示される

症状

原因

タスクの作成時に 600 以上のサーバーを選択すると、タスクが正常に作成された場合でも、障害メッセージが表示される場合があります。

修正方法：

アクション

Task Status ページをチェックして、タスクが作成されたか、失敗したかを確認します。

アクティビティのアラートとログを CSV にロードおよびエクスポートすると GUI がフリーズする

症状

ユーザーが 70,000 個以上のレコードを持つ **Activity Alerts and Logs** ページに移動すると、GUI がフリーズする場合があります。

原因

アクション

アクティビティのアラートとログのロードが完了するまで待ちます。

S100i Smart Array コントローラーで、ファームウェア構成の設定を復旧できない場合がある

症状

S100i Smart Array コントローラーの論理ドライブ構成を含むファームウェア構成の設定は、自動または手動によるサーバーシステムの復元中に復旧できない場合があります。

原因

アクション

S100i Smart Array コントローラーでファームウェア構成を適用できなかった場合は、コントローラーで手動による設定を行います。

カスタム SPP のファームウェアベースラインを iLO Amplifier Pack にインポートすると失敗する

症状

カスタム SPP のファームウェアベースラインを iLO Amplifier Pack にインポートすると、「ISO validation failed」というエラーが表示されて失敗します。これは、SPP カスタムダウンロードポータルから作成されたカスタム SPP に必要なファイルが含まれていないためです。

原因

アクション

1. SPP カスタムダウンロードポータルからカスタム SPP を作成する場合は、SPP (2018.03.0) をベースとして使用し、カスタム SPP イメージを作成します。
2. カスタム SPP イメージを作成するには、SUM (Smart Update Manager) v8.20 以降を使用してください。

特定のサーバーでオンラインの高速対話型更新が失敗し、「Activate Failed」というメッセージが表示される

症状

SUT バージョン v2.0.x 以前を搭載したサーバーで、オンラインの高速対話型更新を試みると、「Activate Failed」というメッセージが表示されて失敗する場合があります。サーバーは、SPP コンポーネントで更新されたとしても、SUT バージョン 2.0.x 以前における既知の問題により、「Activate Failed」が表示されます。

アクション

1. オンラインの高速対話型更新のプロセス中は、更新する SUT コンポーネントを選択しないでください。
2. システムの SUT は SUT 2.1.0 以降に更新してください。

特定のサーバーでオンラインの高速対話型更新が「Staged」状態でスタックする

症状

SUT バージョン 2.2.0 以前を搭載しているサーバーで、オンラインの高速対話型更新を試みると、iLO Amplifier が SUT を同じバージョンに再書き込みしようとした場合に「Staged」状態でスタックする場合があります。iLO Amplifier Pack の更新タスクは、タイムアウトするまで最大 8 時間待機します。

アクション

オンラインの高速対話型更新のプロセス中は、サーバーで同じ SUT バージョンに更新/再書き込みする SUT コンポーネントは選択しないでください。

AMS が実行されていても、オンラインアップデートを実行するためのサーバーを選択することができない

症状

iLO で、AMS がインストールされ実行されていることが検出されません。そのため、iLO Amplifier はインベントリを「No AMS found」として取得します。したがって、iLO Amplifier でオンラインアップデートを実行するために、この現象が見られるサーバーを選択することはできません。

アクション

対処法として、AMS を再起動/再インストールして、サーバーを再起動します。

ホストは電源の投入ができないため、iLO Amplifier で手動によるリカバリタスクに失敗する

症状

手動でファームウェアのリカバリを実行すると、iLO Amplifier はサーバーの電源を入れようとします。ホストは断続的に電源を投入できないため、iLO Amplifier でのタスクに失敗します。

アクション

この問題は、HPE iLO 5 1.30 リリースで修正されています。対処法として、操作を再試行します。

オープンソースの使用

iLO Amplifier Pack には、GNU 一般公的使用許諾 (GNU General Public License)、GNU 劣等一般公的使用許諾 (GNU Lesser General Public License)、および/または他のオープンソース使用許諾によって使用許諾されたコードが含まれています。かかるコードに対応するソースコードの完全な機械読み取り可能な複製物は、要求に基づいて使用できます。本提供は本情報を受け取る人は誰にでも有効であり、また Hewlett Packard Enterprise Company による本製品バージョンの最終配布日から 3 年で有効期限が切れるものとしします。かかるソースコードを取得するには、10.00 米国ドルの小切手またはマネーオーダーを以下の宛先に送ってください。

Hewlett Packard Enterprise Company

Attn: General Counsel

3000 Hanover Street

Palo Alto, CA 94304

USA

Web サイト

iLO Amplifier Pack

注記: 製品の主要な問題については、iloamplifier@hpe.com に電子メールを送信してください。

製品ページ

www.hpe.com/servers/iloamplifierpack

アクティブ化ポータル

www.hpe.com/downloads/iloamplifierpack

iLO Amplifier Pack Information Library

www.hpe.com/support/ilo-ap-docs

ユーザーガイド

www.hpe.com/support/ilo-ap-ug-ja

よくあるご質問

www.hpe.com/support/ilo-ap-faq

リリースノート

www.hpe.com/support/ilo-ap-rn-ja

iLO

iLO 4

<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>

iLO 5

<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>

iLO ライセンス

<http://www.hpe.com/info/ilo/licensing>

HPE ProLiant サーバー

HPE ProLiant Gen8 サーバー

<http://www.hpe.com/info/proliantgen8/docs>

HPE ProLiant Gen9 サーバー

<http://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs>

HPE ProLiant Gen10 サーバー

<http://www.hpe.com/support/proliantgen10/docs>

全般

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

- ❶ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証またはサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報に関するドキュメントを確認するには、下記の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

追加保証情報

HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当（docsfeedback@hpe.com）へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。